

## 【その2】

### 2. 平成23年2月の奇跡

平成23年〔2011年〕2月6日、米沢側坑口に出現した奇跡の巨大氷柱群。



〔写真 23・0-1〕 HDR 福島側から望む。 dark-RX 様提供

#### (1) 福島側から望む



〔写真 23・1-1〕 dark-RX 様提供



〔写真 23・1-2〕 dark-RX 様提供



〔写真 23・1-3〕



〔写真 23・1-4〕

おぼら様提供



〔写真 23・1-5〕



〔写真 23・1-6〕

sunny panda 様提供



〔写真 23・1-7〕

dark-RX 様提供



〔写真 23・1-8 〕

おぼら様提供



〔写真 23・1-9〕 sunny panda 様提供



〔写真 23・1-10〕 sunny panda 様提供

(2)内部から観る



〔写真 23・2-1〕 sunny panda 様提供



〔写真 23・2-2 〕 sunny panda 様提供



〔写真 23・2-3A〕 dark-RX 様提供



〔写真 23・2-3B〕 dark-RX 様提供



〔写真 23・2-4〕 sunny panda 様提供



〔写真 23・2-5〕 おぼら様提供



〔写真 23・2-6〕



〔写真 23・2-7〕



〔写真 23・2-8〕 sunny panda 様提供



〔写真 23・2-9〕 sunny panda 様提供



【写真 23・2-10】 sunny panda 様提供



【写真 23・2-11】

おばら様提供



【写真 23・2-12】 おばら様提供



【写真 23・2-13】

dark-RX 様提供



【写真 23・2-14】

### (3) 米沢側から望む



【写真 23・3 -1】



【写真 23・3 -2】



【写真 23-3 -3】



【写真 23-3 -4】 おばら様提供



【写真 23-3 -5】



【写真 23-3 -6】 おばら様提供



【参考写真】

当該箇所中央付近にはその後、H23.2 のような巨大氷柱は出現していない。

例年、申しわけ程度のつらら。H290205



【写真 23-3 -7】

(注:編集の都合により一部加工修正画像あり)



〔写真 23-3 -8 〕

sunny panda 様提供



〔写真 23-3 -9 〕

sunny panda 様提供



〔写真 23-3 -11 〕 おぼら様提供



〔写真 23-3 -10 〕

sunny panda 様提供



〔写真 23-0-2 〕

dark-RX 様提供

「万世大路をこよなく愛する人々」

### 3. 冬の万世大路

#### (1) 明治時代(国道 39 号時代)

『旅の家土産 第四十二號』(奥羽の巻) (八木富次 光村寫眞部 明治卅十五年三月十日発行) より転載。(国立国会図書館ウェブサイト/デジタルコレクションより)



【写真 3・1-1】 米澤附近 栗子峠 其一  
(推定: 滝岩上橋付近、右掲参考写真No.1 参照)



【参考写真No.1】 滝岩上橋付近から米沢市側を望む。  
【H21.3.15】 おばら様提供



【写真 3・1-2】 米澤附近 栗子峠 其二  
(推定: 初代栗子隧道米沢側坑口、右掲参考写真No.2 参照)



【参考写真No.2】 初代栗子隧道米沢側坑口 【H21.3.15】 おばら様提供



【写真 3・1-3】 米澤附近 栗子峠 其三  
(推定: 初代栗子隧道米沢側坑口、右掲参考写真No.3 参照)



【参考写真No.3】 初代栗子隧道、米沢側坑口から坑外を望む。  
【H21.3.15】 おばら様提供



【参考写真No.4】

並んで佇む「栗子隧道」(米沢側坑口)。

左側第2代:昭和11年(1936年)8月完成。

右側 初代:明治14年(1881年)9月完成。

【H251101】



(2) 大滝集落関連

大滝集落在りし昭和の日々

〈大滝集落〉



【写真 3・2-1①】 冬の大滝集落、大滝地区、手前大滝橋。昭和30年代。



【写真 3・2-1②】 冬の大滝地区。



【写真 3・2-1③】 吹雪の大滝地区



【写真 3・2-1④】 大滝橋から上流を望む(旧榎木家)。



【写真 3・2-2①】 上の大滝分校を望む。



【写真 3・2-2②】 下の大滝分校を望む。



【写真 3・2-3①】

住民総出の人力除雪(集落内の木炭倉庫から木炭をトラックで搬出するため)。旧国道 13 号(旧大鍋橋付近)、米沢側から福島側を望む。昭和 30 年頃。



【写真 3・2-3②】

冬の木炭出荷、みんなで見送り(木炭倉庫前)。



【写真 3・2-4①】 大滝地区(旧木村家前)



【写真 3・2-4②】

胡桃平(長老沢)地区、旧高野家(旧宮内屋旅館)前。栗子ハイウェイ開通前は、この付近まで除雪されこれから奥(米沢側)は通交止め(12月～翌年春4月まで)。昭和 40 年代前半。

## 〈集落関連〉



〔写真 3・2-5①〕

冬、炭焼き小屋への通路確保(雪踏み)。集団で実施。  
大滝不動尊参詣道路、赤岩道からの分岐点付近。  
昭和 30 年代前半。



〔写真 3・2-5②〕

高欄の無い第 3 代目新沢橋(戦前、鑄物高欄を供出)。  
椎茸栽培ホダギ確保。  
昭和 30 年代前半、早春。



〔写真 3・2-5③〕

石小屋地区、米沢側から福島側を望む(左側上、現大滝第 1 トンネル  
福島側坑口)。写真中央右に勝地梨沢橋(カッチ橋)が見える。

(木桁橋: L=5.0m, W=4.7m, 昭和 7 年[1932 年]完成)

※ S38 大滝道路改良工事において、カッチ橋を含む旧道が付替道路  
区間となったため地下排水溝に変更されカッチ橋は消滅した。  
昭和 28 年 1 月撮影。

※ 昭和 28 年 1 月 17 日、当時の建設省職員 3 名(福島工事事務所  
工務課企画係、茨木茂係長、栃窪久技術員、丹治清治技術員)が  
ニツ小屋隧道等の冬期調査をおこないその帰路メンバーの 1 名が  
スキーで骨折、高野英治さんが消防隊員(救急隊)を案内して現地  
に向っているところ。当時職員は、大滝高野家に宿泊していた。  
(栃窪さん・高野さん談)

後掲〔写真 3・2-6①〕も同じ時のもの。



〔写真 3・2-5④〕

旧猪橋(イノシバシ)・橋脚の巨大氷柱。  
旧猪橋(木桁橋: L=14.2m, W=4.2m, S23 年完成)。  
昭和 30 年代後半。



〔写真 3・2-5⑤〕 (参考)

左側、旧猪橋。道路は第 2 代[初代]万世大路、左至米沢、  
右至福島(大滝集落)。正面の岩山は新国道 13 号滝大第 2 トンネル  
米沢側坑口、手前猪沢橋(イノサワバシ)予定地。 昭和 38 年頃



【参考写真No.5】

新国道13号(栗子ハイウェイ S41.5.29 開通)、猪沢橋(イノサワバシ)。  
(L=43.2m、W=8.5m、S40.1 完)。

写真右下外側に旧猪橋(イノシシバシ)がある。  
前掲[写真3・2-5⑤]の反対側から望む。  
大滝第2トンネル側から撮影(S42[1967].12)。

栗子国道橋梁調査・猪沢橋高さ実測中。  
左側の測定者は筆者(撮影松本孝技官)。



【写真3・2-6①】

石小屋地区、あゆいまつ(相生松)付近。  
米沢側から福島側を望む。  
昭和28年1月。



【写真3・2-6②】

石小屋地区、あゆいまつ(相生松)付近。  
福島側から米沢側を望む。  
『栗子トンネル工事誌』より(昭和28年1月調査時か)。

(注 写真の大半は、大滝会の皆様からの提供によります(木村義吉前会長、高野英治前副会長、榎木新吉前副会長、伊藤弘治前理事、紺野文英理事)。



【写真3・2-7】

飯坂スキー場、昭和42年頃 大滝住民5~6名雇用されたという。

今冬の旧大滝集落 令和3年2月12日



【写真3・2-7①】

葭沢地区・葭沢橋、福島側から望む。橋上積雪 1.4m(実測)。



【写真3・2-7②】

葭沢橋、小川下流福島側(左岸)から望む。



【写真3・2-7③】

葭沢橋、米沢側から大滝側を望む。



【写真3・2-7④】

大滝橋、米沢側から福島側を望む。奥は水神様。



【写真3・2-8①】

大滝橋(米沢側)付近から大滝地区を望む。



【写真3・2-8②】

大滝記念碑(旧大滝分校)入口。



【写真 3・2-8③】

雪に埋もれた大滝記念碑。



【写真 3・2-8④】

大滝山神社、間一髪難を逃れる。



【写真 3・2-8⑤】

大滝山神社境内。桜の木倒木。・南側から望む。  
中央に山神社。  
右掲[参考写真No.6] の桜はもう見られない。



【参考写真No.6】

大滝山神社境内の桜。  
R2.5.3



【写真 3・2-8⑥】

大滝記念碑(大滝分校)入口付近から福島側を望む。



【写真 3・2-8⑦】

いら沢橋 福島側から望む。



【写真 3・2-9①】

胡桃橋 福島側から胡桃平(長老沢)側を望む。



【写真 3・2-9②】

渡辺清治さん旧宅を福島側から望む。



【写真 3・2-9③】

旧中屋旅館(渡辺正義さん旧宅)。福島側から望む。  
明治天皇御小休所(M14.10.3)。



【写真 3・2-9④】

旧中屋旅館、正面から望む。  
石碑は 昭和 10 年 11 月史蹟指定記念碑( S18.11 建立)。  
左側の御駐輦記念碑「鳳駕駐蹕之蹟」(M41.9.12 建立、高さ 1.2m)  
は雪の中。積雪 1.3m(実測)。



【写真 3・2-10⑤】

高野英治さん宅(旧宮内屋旅館)跡から福島側を望む。  
写真中央奥、道路左側渡辺清治さん旧宅。



【写真 3・2-10⑥】

渡辺清治さん旧宅前から福島側(紺野さん旧宅跡)を望む。  
軒先近くまで積雪がある



【写真 3・2-10①】

長老沢地区(旧西川橋[2代目]付近)。  
渡辺角右エ門さん宅跡先から米沢側を望む。  
赤い橋は、現国道 13 号 3 代目西川橋  
(L=98.8m、S39.9 完、標高 400m)。



【写真 3・2-10②】

万世大路(旧国道 13 号)、長老沢地区終点、旧西川橋(写真左側)。  
旧西川橋(西川に架かる)から左側先の万世大路は石小屋地区。  
赤い橋は、現国道 13 号 3 代目西川橋、橋下を右側に行くのは  
蛇体道(至る茂庭)。



【写真 3・2-10③】

旧西川橋(2代目)、福島側から望む。  
手前、長老沢(胡桃平)地区、万世大路は奥左側(石小屋地区)。



【写真 3・2-10④】

旧西川橋(米沢側)から米沢側・石小屋地区を望む。



【写真 3・2-10⑤】

旧西川橋付近から福島側(大滝集落側)を望む。



(3) 内務省(建設省)関連  
昭和の大改修(戦前、内務省)



〔写真 3・3-1①〕

昭和の大改修では、奥羽本線板谷駅から明通し峠を越え  
トロッコ運搬で資材をニツ小屋に搬入した。駅の除雪作業。昭和 9 年。



〔写真 3・3-1②〕

冬には、当時栗子隧道へは板谷駅付近スキー場を経由して  
行ったという。昭和 10 年 2 月。



〔写真 3・3-2①〕

ニツ小屋隧道福島側坑口。昭和 10 年 2 月。



〔写真 3・3-2②〕

ニツ小屋隧道福島側坑口にて。昭和 11 年 3 月。



〔写真 3・3-3①〕

旧新沢橋(2 代目)、昭和 10 年 2 月。



〔写真 3・3-3②〕

昭和の大改修で新設、手前 3 代目新沢橋。  
200m 上流、左上に 2 代目新沢橋が見える。昭和 12 年頃。

※ 昭和の大改修 昭和 8 年 4 月～昭和 12(1937 年)年 3 月

## 栗子国道改築(戦後、建設省)



【写真 3・3-4①】

昭和 27 年度、福島県によるニツ小屋隧道・内巻補修工事中(第 2 号内巻と推定される)。手前の氷柱箇所は、後に(28 年度)に施工した第 1 号内巻区間内と思われる。

昭和 28 年 1 月 17 日栗子冬期調査時撮影(建設省)。

※ 国道 13 号栗子峠の積雪調査等は、建設省福島工事事務所において昭和 27 年度から実施されていたものである。

(国道 13 号栗子国道改築工事は、昭和 36 年[1961 年]10 月着工、昭和 41 年[1966 年]5 月完成。栗子ハイウェイと命名され昭和 41 年 5 月 29 日開通)



【写真 3・3-4②】

ニツ小屋隧道福島側坑口。

昭和 28 年 1 月 17 日栗子冬期調査時撮影(建設省)。



【写真 3・3-4③】

栗子隧道福島側坑口

昭和 28 年 1 月 17 日栗子冬期調査時撮影(建設省)



【写真 3・3-5①】

ニツ小屋隧道米沢側坑口。

昭和 30 年代前半の栗子冬期調査時(推定)。

『国土建設 20 年のあゆみ』(昭和 43 年 7 月 10 日)より。



【写真 3・3-5②】

ニツ小屋隧道氷柱。第 1 号内巻区間米沢側。

昭和 30 年代後半 (推定)

栗子国道記録映画。



【写真 3・3-5③】

ニツ小屋隧道第 2 号内巻区間福島寄り現在の巨大氷柱群箇所と推定される。前後の型枠パネルの幅が狭く、内巻施工後と考えられる。昭和 30 年代前半の栗子冬期調査時(推定)。『国土建設 20 年のあゆみ』(昭和 43 年 7 月 10 日)より。



【参考写真No.7】

左掲箇所【写真 3・3-5③】と推定される現在の巨大氷柱群出現箇所。第 2 号内巻区間福島寄り。

【H310114】



【写真 3・3-6①】

雪に埋もれた赤浜集落。

右側の建物は、建設省栗子赤浜国道出張所(米沢市刈安赤浜)。西栗子トンネル工事を担当。昭和 39 年頃。



【写真 3・3-6②】

赤浜出張所前の除雪 昭和 39 年頃。



【写真 3・3-6③】

国道から赤浜出張所への通勤路確保。昭和 39 年頃。



【写真 3・3-6④】

板谷地内。西栗子トンネル工事現場へは板谷から入る。工事資材は板谷駅から搬入。昭和 39 年頃。



【写真 3-3-7①】

完成間近、東栗子トンネル福島側坑口 昭和 41 年冬。  
建物は、換気所の1階部分で将来の機械換気のため  
暫定的に建築されていたもの(将来手戻りとならないように)。



【写真 3-3-7②】

東栗子トンネル福島側坑口。昭和 42 年 2 月(S41.5.29 開通)。  
新国道は除雪を開始、通年通行を確保した。  
建物は換気所、当初暫定的に自然換気の計画であったが予想  
外の交通量のため機械換気が必要となり、急遽換気所の追加  
工事を施工中。

※ 本節の写真類は、建設省東北地方建設局(福島工事事務所)刊行物・パンフレット・各種資料、  
建設省 OB 新渡戸典孝氏、万世大路研究会提供によるものである。

(4) 栗子隧道(米沢側) 平成 21 年 3 月 15 日 おばら様提供



【写真 3・4 -1①】

滝岩上橋付近(「昭和の大改修」終点)。米沢側から望む。



【写真 3・4 -1②】

滝岩上橋(L=14.4m、W=5.6m、S7.9 完成)。栗子川上流右岸から望む。山形県側万世大路・仮起点:栗子隧道まで約 4.1km。



【写真 3・4 -2①】

コンクリート溝橋(仮起点:滝岩上橋から約 1.9km、栗子隧道までのほぼ中間点)。



【写真 3・4 -2②】

溝橋を少し過ぎた辺り。



【写真 3・4 -2③】

栗子隧道手前の旧国道。



【写真 3・4 -2④】

栗子隧道見ゆ。



【写真3・4 -3①】

第2代栗子隧道米沢側坑口。



【写真3・4 -3②】

栗子隧道内巨大氷柱、米沢側から望む。



【写真3・4 -3③】

栗子隧道内巨大氷柱

【写真3・4 -3④】

栗子隧道内巨大氷柱





【写真 3・4 -3⑤】

栗子隧道内巨大氷柱。米沢側坑口を望む。



【写真 3・4 -3⑥】

栗子隧道内巨大氷柱。米沢側坑口を望む。



【写真 3・4 -3⑦】

栗子隧道内 氷筈。



【写真 3・4 -3⑧】

栗子隧道内、米沢側から福島側を望む。



【写真 3・4 -3⑨】

栗子隧道内大崩落地点。  
米沢側坑口から約 350m地点と想定される。福島側を望む。



再掲【参考写真No.4】

並んで佇む「栗子隧道」(米沢側坑口)  
左側第 2 代 : 昭和 11 年(1936 年)8 月完成。  
右側 初代 : 明治 14 年(1881 年)9 月完成。

【H251101】



【写真 3・4 -4①】

初代栗子隧道米沢側坑口。



【写真 3・4 -4②】

坑内から坑外を望む。



【写真 3・4 -4③】

栗子隧道内氷筍。



【写真 3・4 -4④】

栗子隧道内氷筍。

注 本節の写真はおば様提供です。写真説明文の文責は筆者にあります。  
なお、各写真のコメントについては、おば様の下記ブログを参照して下さい。  
感動が伝わります。

『猫とか、旅とか?』

栗子隧道山形側 氷柱見学 2009.3.15

[http://kanso.cside.com/neko\\_tabi/200903/ku02.htm](http://kanso.cside.com/neko_tabi/200903/ku02.htm)